

令和5年度 第1回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和5年7月25日（火曜日） 10時00分～11時40分

【場所】

山梨県庁防災新館 409会議室（甲府市丸の内1-6-1）

【内容】

12名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、新たな協議会長の選任、行政や各団体におけるプラスチック対策の情報共有について、以下のとおり意見を交わしました。

1. 協議会長の選任

- ・令和5年4月1日以降の新たな協議会長を会員の互選により選出
『山梨県立大学国際政策学部総合政策学科 教授 箕浦一哉氏』が就任

2. 県の事業報告

- ①令和4年度マイクロプラスチック河川調査の結果について
- ②令和5年度事業について
 - ・海洋プラスチックごみ発生抑制対策事業費補助金
 - ・令和5年度マイクロプラスチック河川調査
 - ・流域他県と連携した環境美化啓発イベントツアー
 - ・普及啓発リーフレットの作成

3. 協議会団体等の事業・成果報告

- （一社）山梨県消費者市民社会推進協議会
「特別授業の事業展開について」
 - ・当協議会は、取り組みやすい環境づくりを目的に、今できる環境保全をはじめ、消費者教育等に取り組んでいる
 - ・県立及び市町村立の小中高校の外部講師として教育委員会の認定を受け特別授業を展開している
 - ・令和4年度は特別授業を約14地区、61回開催し、小学生からその保護者含めて2160名が参加
- 山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト
「プラスチックごみ問題に係る各種調査の実施について」
 - ・山梨県内の公共施設への人工芝の導入状況調査と県内の農協向けに徐放性肥料の利用状況のアンケート調査を実施
 - ・日本経済新聞によると、人工芝流出が12都府県の河川で確認された
 - ・人工芝を安定させるための充填剤もかなり流出している
 - ・人工芝の導入状況調査結果はまとめて県内27市町村に送付し、次のプラスチックスマート連絡協議会でも紹介する予定

【構成団体からのご意見】

「県の事業について」

- マイクロプラスチック調査について、経年で調査を行う地点ができたのはよかったと思います。今後も調査を続けていただければと思います。
- マイクロプラスチック調査について、予算その他の関係から調査地点を増やすことは難しいと思いますが、年に1回の調査ですとその数値の意味を解釈するのは難しいと思います。1回の調査では数値に変動があると思いますので、時点を増やせれば良いと思います。また、1つの地点をしっかり決めて、季節変動などを見るのが重要だと思いました。

「協議会団体等の事業・成果報告について」

- 大学生でもこちらからインプットした内容が中々入っていかないということがあります。大学の授業は講義形式が多かったところ、学生に考えさせる時間を増やしました。伝えるという時間を削ってでも子ども達に考える時間を与えると感じています。

「その他の意見」

- 徐放性肥料に関連して、山梨県では、農業用ビニールと農業用ポリの90～95%を（公社）山梨県農業用廃プラスチック処理センターで回収できています。回収したプラスチックの80%はリサイクルできています。

「協議会への意見」

- 協議会は非常に多様な団体で構成されております。自分たちの見地だけのアイディアは狭いので、各分野によってアイディアを出しあう場として、期待をしています。
- この協議会で県民に向けてプラスチックごみ対策を発信していきたいと思っています。この協議会は色々な団体があるので、この会をもっと県民に開かれた会にしていただければと思います。